

# 11/25 実施 第4回 小川晶保育ゼミ テーマ『排泄』

R4.1.6 保育センター 発行

小川晶保育ゼミでは、これまで、子どもの欲求にピッタリと合った関わりの大切さを学んできました。今回の保育ゼミでは、排泄時の子どもの発達に合わせた保育者の関わり方等について学ぶことができました。

## 排泄時の関わりについて

小川晶 2022 ゼミ資料より作図

(排泄の基本の流れ)



子どもの「不快」「快」に気付けるよう、子どもの様子をよく観察する



### 発達に合わせて関わり方を考える

2歳から3歳に向かう時期は、子どものプライドは頂点になります。失敗を気にするあまり、パンツで過ごすことを嫌がる姿も見られます。自尊心を傷つけないような関わり方を考えてみましょう。

例えば

言葉掛けをちょっと大人っぽい言い方にしてみる  
「トイレに行ってみると、〇〇ちゃんらしいと思うなあ〜」等。

パンツにおしっこが出た時、周りの目が気にならないようにする。  
周りの人がいない所でそっと替える。保護者にもそっと伝える等。

グループワークでの受講者の意見

### こんな時大変！でも、こんな工夫ができる☆

トイレへの動線が長く、小まめに付き添うのは厳しい…

→ レジャーシートやオマルを使用して、集団からあまり離れずに行く

1人1人の排泄のタイミングが分からない…

→ メモを取り記録を残して、把握や共有をする。

保育室でおしっこが出た時に、衛生面が気になる…

→ どこで出てもすぐ対応できるように掃除セットを作り各所に置く

トイレに行きたがらない…

→ トイレ探索を行ってみる。どんな物があるか、興味関心をもたせることから始める

### 受講者の感想

0歳児クラスでも、トイレに興味をもてるようなやり取りや、家庭にも協力してもらい、トイレに座る等の経験を少しずつ取り入れていきたい。

【シリウス☆リトルスター保育園

譜久村先生】

パンツにおしっこが出たしまった時の対応は大変ですが、嫌な顔せず、「スッキリしたね」と言葉をかけてあげたいと思いました。

【みなみ保育園 吉田先生】

排泄があったら替えることを意識して、不快であることを普通にしない。快の状態に気付けるようにしていく。

【スピカ☆リトルスター保育園

松本先生】

衛生面から保育室内でのオマルの使用には抵抗があったが、じっくり、ゆっくと排泄の時間に関わるためにはオマルの活用を考慮していきたい。

【和光プライムスター保育園

岩澤先生】